

さらに伸ばすシート

教科名	小学校 算数	平成26年度問題	B2 (3)	
学習指導要領の領域・内容	3年 D 数量関係			
調査問題				
著作権の都合により掲載できません。				
国立教育政策研究所 平成26年度 全国学力・学習状況調査の調査問題 小算B-2 <a href="https://www.nier.go.jp/14chousa/pdf/14mondai_shou_sansuu_b.pdf">https://www.nier.go.jp/14chousa/pdf/14mondai_shou_sansuu_b.pdf</a> 参照				
解答類型		全国平均	県平均	自校等
	1 と解答している。	4.8 %	3.8 %	%
	2 と解答している。	23.1 %	19.9 %	%
	3 と解答している。	9.3 %	8.2 %	%
◎	4 と解答している。	61.5 %	66.8 %	%
	上記以外の解答	0.1 %	0.1 %	%
	無解答	1.2 %	1.2 %	%
さらに伸ばすためのポイント				
資料の全体と部分の関係を説明するという目的を考慮し、より適切なグラフを選択する児童が比較的多く見られた。表やグラフの表し方について工夫したり、判断したりするなどの活動が充実していることが伺える。 しかしながら、(2) 棒グラフや(3) 折れ線グラフを選択した児童もかなりの割合で見られた。そこで、さらに伸ばすためには、指導に当たっては、それぞれのグラフを用いる場面について考えたり、それぞれの特徴を明らかにしたりする指導を充実させることが必要である。 児童が目的意識をもって、表やグラフなどの資料の特徴を説明したり、主張したいことを伝え合ったりすることは、他教科等の学習や実生活においても大切なことである。				
備考				
○ 関連する問題				
平成25年度 算数B5 (1) 棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。(県平均76.6% 全国平均76.1%)				